



**天皇家は
万世一系の
ダビデ王朝の
末裔である！**

エレミヤ

警告の角笛シリーズ

5. 聖書に記されたユダ族の特徴⑤ 「ユダ、日本の首都はエルサレム（平安の都）である」	100
6. 聖書に記されたユダ族の特徴⑥ 「神殿はユダにあった」	103
7. 聖書に記されたユダ族の特徴⑦ 「ユダのシンボルは、獅子であった」	106
8. 聖書に記されたユダ族の特徴⑧ 「ユダは、戦いに孟き民、戦いの先陣を切る」	108
9. 聖書に記されたユダ族の特徴⑨ 「契約の箱もユダにあった」	110
10. 聖書に記されたユダ族の特徴⑩ 「獅子は身を伏せる」	125
11. 日本がダビデの血統を保つユダ国である証拠： ユダで使われる神名	136
12. 中国の王朝こそ、北朝イスラエルの王朝に近い	139
13. 日本語とヘブル語の類似	140
14. ナギアド・ヤラの衝撃：イスラエルの国歌が日本の民謡に	145
15. 天皇家とダビデ王朝との関係を語った川守田博士	148

3章 天皇家とダビデ王朝との多くの類似点

1. ダビデと天皇家の類似点① 「神に仕えることを重要視する」	152
2. ダビデと天皇家の類似点② 「万世一系の王族」	155
3. ダビデと天皇家の類似点③ 「歌を作る」	157
4. ダビデと天皇家の類似点④ 「音楽」	164

5. ダビデと天皇家の類似点⑤ 「戦いの人」	170
6. ダビデと天皇家の類似点⑥ 「死者のために身を汚さない」	173
7. ダビデと天皇家の類似点⑦ 「王女の服、振り袖」	175
8. ダビデと天皇家の類似点⑧ 「何人もの妻」	177
9. ダビデと天皇家の類似点⑨ 「神殿を建設する」	180
10. ダビデと天皇家の類似点⑩ 「エルサレムに住む」	186

4章 ユダヤ人であると嘘をついている人々

1. 彼らは偽ユダヤ人？ 「ユダヤ人であると嘘をついている人々」について述べる	194
・ 聖書で言うユダ族とは、黄色人種のことである	195
・ ヤベテ（白人）の分布	200
・ ハム（黒人）の分布	201
・ セム（黄色人種）の分布	203
2. 偽ユダヤ人が生まれた経緯	206
・ 聖書は偽ユダヤ人について語る	206
・ 聖書は偽ユダヤ人の存在について語る	209
3. 日本人こそ、真のユダ族であることを証明することへの いくつかの妨害、壁	213
4. なぜ、日本に真のユダ族の子孫が住んでいるのか？ バビロン捕囚の歴史	217

5. 日本にはあり、偽ユダヤ人にはないもの	220
6. 偽ユダヤ人の歴史、また、行い	226
・ ルターの偽ユダヤ人に関する説明	226
・ 恐るべきタルムード	227
・ ベニスの商人の話	234
7. 日本人と偽ユダヤ人の比較：どちらが本物のユダヤ人か？	237
・ 結論	247
8. 日ユ同祖論という誤った考え	249



5章 ダビデ以来3000年もの間、万世一系が存続した理由

1. 神はダビデのゆえに、その子孫、天皇家の王位を この国で守られる	256
2. ダビデは神への忠実のゆえに、イスラエルの王位に着いた	258
3. 神への不忠実のゆえに、敵に破れ、王位を追われる王族	260
4. 日本の天皇家に関しても同じはかり、同じ重りが使われる	262
5. 天皇家の歴史はまた、受難の歴史	264
6. ダビデを王位につけた神は、その子孫である天皇家に 今も目を注がれる	266
7. 結論	268

詩篇132:11

11. 主はダビデに誓われた。それは、主が取り消すことのない真理である。「あなたの身から出る子をあなたの位に着かせよう。」

エレミヤ書33:20-22

20. 「主はこう仰せられる。もし、あなたがたが、昼と結んだわたしの契約と、夜と結んだわたしの契約とを破ることができ、昼と夜とが定まった時に来ないようにすることができるなら、

21. わたしのしもべダビデと結んだわたしの契約も破られ、彼には、その王座に着く子がいなくなり、わたしに仕えるレビ人の祭司たちとのわたしの契約も破られよう。

22. 天の万象が数えきれず、海の砂が量れないように、わたしは、わたしのしもべダビデの子孫と、わたしに仕えるレビ人とをふやす。」

このようにダビデ王朝が途切れないことは、神により約束されています。しかるに、このような固い神からの約束にもかかわらず、21代続いたダビデ王朝は紀元前6世紀頃に起きたバビロン捕囚により、歴史の闇に消えてしまったのです。

今から、2600年位前のことです。

その後、ダビデ王朝はどこへ行ってしまったのでしょうか？

神のダビデへの固い約束は破られ、それは反古になってしまったのでしょうか？

さて、ここにおどろくべきことがあります。

極東の島国である一国に、2600年の歴史を誇る万世一系の王族が存在しているのです。すなわち神のダビデへの約束通り、王の子が王となる、という原則を延々と忠実に継承し、しかもその国の国民にとって、たった一つの王族として大切に扱われている由緒正しい王族、すなわち皇族が存在するのです。このような万世一系の王族は世界広し、と言えど、どこの国にも存在してはいないのです。

もしかすると、この国の王族こそ、神の約束されたダビデ王朝の末裔かもしれません。

かつて神がダビデに与えた約束は、この国の中で実現しているのかもしれない。

さて、その国とは一体どこの国なのか？

その王族と聖書に書かれているダビデ王朝の類似性とは？

それらをまとめたのがこの本です。

*この本で使用されている聖書の記述は、新改訳聖書（いのちのことば社）からの引用です。